

政策シート

政策名 **02 快適な道路・川づくり**

予算費目名 **01 道路企画費**

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 **03 安全・安心・快適**

理想の姿 (30年後)	◆どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。
政策の柱 (10年後)	◆災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。 ◆居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

基本政策 **04 安全な生活基盤づくり**

(2) 政策の概要(当年度(令和3年度)実施内容)

・市民が安全・安心に生活できるように道路が適正かつ持続的に保全され、交通事故や災害が少ない都市を実現する。
①道路ネットワークの整備・強化

(3) 関連するSDGsのゴール

①都市									
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	6,730,909	6,351,529	6,127,761			
決算	5,091,060	6,313,596				
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	114,100	97,559	97,468			
年間経費(予算又は決算+A+B)	5,205,160	6,411,155	6,225,229			

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
現道改良の整備率	%	目標	62.2	62.3	62.4	62.5	62.6	62.7
		実績	62.2	62.3				
		目標						
		実績						

4 前年度(令和2年度)政策評価

(1) 前年度(令和2年度)実施内容

・市民が安全・安心に生活できるように道路が適正かつ持続的に保全され、交通事故や災害が少ない都市を実現する。
①道路ネットワークの整備・強化

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗>	計画通り
①コンパクトシティ、道路ネットワークの整備・強化に向け、道路改良事業の推進を図った。	

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	道路関係調査事業	—	—	○		45,584	32,900	1.8				
2	市道整備事業	○	○	○		1,403,084	1,372,291	4.3			0.3	
3	国県道整備事業	○	○	○		1,406,399	1,378,413	3.8			0.5	
4	道路整備推進事業	—	—	—		26,284	26,270	0.0				
5	スマートインターチェンジ 関連整備事業	○	○	○		220,859	215,000	0.8				
6	三遠南信自動車道関連整備 事業	○	○	○		1,596,525	1,589,000	1.1				
7	国直轄道路事業（負担金）	—	—	○		1,449,311	1,446,000	0.5				
8	道路企画運営経費（一般諸 経費のみ）	—	—	—		77,183	67,887	1.0			0.8	
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						6,225,229	6,127,761	13.3			1.6	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 道路関係調査事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

安全、安心で快適な道路空間を実現するために、現状の把握について調査・検討を行う。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
H20	-	一般会計	自治事務(法令義務)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

①都市									
事業とゴールの関連性	交流人口の拡大や地元産業の強化等、持続可能な都市づくりに必要な道路整備に向けての検討。								

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	25,121	84,237	32,900			
	決算	31,496	5,918				
	国・県支出	1,216					
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	30,281	5,918	32,900			
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		19,600	12,684	12,684			
人工	正規	2.8	1.8	1.8			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		51,096	18,602	45,584			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 03 基本政策 04 政策 02 予算費目 01 所属コード 002314000 事業 01 (担当課) 道路企画課 (責任者) 小出 弘章 (基準日) R3.4.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

【道路交通調査事業】

国道1号浜松バイパスと交差する浜松市管理道路について、交通課題を整理した。
また、国の検討状況に併せて、交差道路側の概略設計等の検討に着手した。



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度 達成

【道路交通調査事業】

国道1号浜松バイパスと交差する浜松市管理道路について、交通課題の整理ができた。
また、課題への対応策の検討に着手した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

国道1号浜松バイパスの新規事業化に向けて、国が第1回計画段階評価に着手し、3つの対策(案)が第三者委員により了承された。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工
国の検討状況に併せて、市が検討するべき事項の調査等を実施。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工
引き続き、国の検討状況に併せて、市が検討するべき事項の調査等を実施。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

【道路交通調査事業】

国道1号浜松バイパスと交差する浜松市管理道路について、交通課題の詳細な対応策を検討する。

事業シート (事業名) 02 市道整備事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

東名高速道路など恵まれた交通環境を活かしたバランスの良い道路整備を促進するため、幹線道路を軸に地域の特性を配慮した補助幹線として、利用度が高く投資効果のある路線から重点的に整備を進め、安全で快適な生活環境を目指す。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
H19	-	一般会計	自治事務(法令義務)	道路法第17条

(3) 事業の位置付け

主要事業	<input type="radio"/>	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	<input type="radio"/>	(施策)	III-1(1)ア						
重点戦略	<input type="radio"/>	(戦略項目)	148	150	151				

(4) 関連するSDGsのゴール

①都市									
事業とゴールの関連性	コンパクトシティの形成に向け浜松市が掲げる拠点ネットワーク型の都市づくりが実現する。また、新たな道路ネットワークの構築により、周辺道路等において渋滞の緩和が図られる。								

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	1,393,721	1,312,924	1,372,291			
	決算	1,110,239	1,153,694				
	国・県支出	214,108	288,314	150,340			
	市債	657,000	632,300	568,900			
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	239,131	233,080	653,051			
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		22,120	24,570	30,793			
人工	正規	3.0	3.4	4.3			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.4	0.3	0.3			
年間経費(予算又は決算+A+B)		1,132,359	1,178,264	1,403,084			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
道路改良率			目標	60.3	60.4	60.4	60.4	60.4	60.4
			実績	60.3	60.4				
市街地と高速道路を結ぶ道路ネットワーク機能の充実 対象路線整備率(%)		150	目標	55	55	56	75	93	100
			実績	55	56				
拠点間の連携に資する幹線道路の整備 対象路線整備率(%)		151	目標		16	26	30	80	80
			実績		16				
中規模要望(高判定)の残件数(件)※平成30年度末時点における累積未実施分(土木部全体)		148	目標	335	212	92	46		
			実績	328	200				
			目標						
			実績						

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

【R1-R4重点戦略項目No148,150,151】

- 市道整備事業
- ・国交付金事業 [決算161,120千円(うち前年度繰越125,840千円)]
 - 社会資本整備総合交付金事業
 - 道路改良(実施中) 1路線
 - ・国交付金事業 [決算399,396千円(うち前年度繰越319,284千円)]
 - 地方創生道整備推進交付金事業
 - 道路改良(実施中) 2路線
 - ・単独事業 [決算593,178千円(うち前年度繰越121,217千円)]



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・概ね、予定通りに進捗した。事業用地確保が出来ず、道路改良工事に着手できない箇所があった。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・コロナ禍に伴い、地権者との調整、現地立合い等に時間を要した。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・地元調整及び地権者説明を徹底し、事業用地を確保に努める。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・計画的に事業用地を確保し、幹線道路の整備と共に、生活道路の改良も継続して取り組む。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

【R1-R4重点戦略項目No148,150,151】

- 市道整備事業
- ・国交付金事業
 - 社会資本整備総合交付金事業
 - 道路改良(実施中) 1路線
 - ・国交付金事業
 - 地方創生道整備推進交付金事業
 - 道路改良(実施中) 2路線
 - ・単独事業
 - 中規模要望ほか

補助シート (重点戦略 事業工程表)

(事業名) 02 市道整備事業

◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)
148	中規模要望事業の実施	中規模要望事業の実施	中規模要望事業の実施	中規模要望事業の実施
150	アクセス道路の整備 ・用地、物件補償 ・道路改良工	アクセス道路の整備 ・用地、物件補償 ・道路改良工	アクセス道路の整備 ・用地、物件補償 ・道路改良工	アクセス道路の整備 ・用地、物件補償 ・道路改良工
151	拠点間の連携に資する 幹線道路の整備 ・用地、物件補償 ・道路改良工	拠点間の連携に資する 幹線道路の整備 ・用地、物件補償 ・道路改良工	拠点間の連携に資する 幹線道路の整備 ・用地、物件補償 ・道路改良工	拠点間の連携に資する 幹線道路の整備 ・用地、物件補償 ・道路改良工

事業シート (事業名) 03 国県道整備事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

政令指定都市移行後、県より移譲された国県道について、円滑な自動車交通ネットワークを構築するために道路整備を推進する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
H19	-	一般会計	自治事務(法令義務)	道路法第17条

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	○	(施策)	III-1(1)ア						
重点戦略	○	(戦略項目)	148	150	151				

(4) 関連するSDGsのゴール

①都市									
事業とゴールの関連性	コンパクトシティの形成に向け浜松市が掲げる拠点ネットワーク型の都市づくりが実現する。また、新たな道路ネットワークの構築により、周辺道路等において渋滞の緩和が図られる。								

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	1,862,831	1,689,901	1,378,413			
	決算	994,909	1,922,626				
	国・県支出	360,573	790,106	629,075			
	市債	418,200	738,800	603,700			
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	216,135	393,720	145,638			
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		22,120	34,986	27,986			
人工	正規	3.0	4.8	3.8			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.4	0.5	0.5			
年間経費(予算又は決算+A+B)		1,017,029	1,957,612	1,406,399			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
道路改良率			目標	77.4	77.5	77.6	77.7	77.8	77.9
			実績	77.3	77.4				
市街地と高速道路を結ぶ道路ネットワーク機能の充実 対象路線整備率(%)		150	目標	55	55	56	75	93	100
			実績	55	56				
拠点間の連携に資する幹線道路の整備 対象路線整備率(%)		151	目標		16	26	30	80	80
			実績		16				
中規模要望(高判定)の残件数(件)※平成30年度末時点における累積未実施分(土木部全体)		148	目標	335	212	92	46		
			実績	328	200				
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 03 基本政策 04 政策 02 予算費目 01 所属コード 002314000 事業 03 (担当課) 道路企画課 (責任者) 小出 弘章 (基準日) R3.4.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

- 国県道整備事業
- ・国交付金事業 [決算1,116,538千円(うち前年度繰越663,008千円)]
社会資本整備総合交付金事業
国道:道路改良(実施中) 4路線
県道:道路改良(実施中) 3路線
 - ・国交付金事業 [決算177,540千円(うち前年度繰越156,540千円)]
個別補助事業
県道:道路改良(実施中) 1路線
 - ・単独事業 [決算525,486千円(うち前年度繰越207,778千円)]
 - ・防衛施設周辺整備事業



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・概ね、予定通りに進捗した。事業用地確保が出来ず、次年度に引き続き用地交渉を行う箇所があった。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・コロナ禍に伴い、地権者との調整、現地立合い等に時間を要した。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・地元調整及び地権者説明を徹底し、事業用地を確保に努める。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・計画的に事業用地の確保に努め、引き続き、幹線道路網の整備を推進する。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

【R1-R4重点戦略項目No148,150,151】

- 国県道整備事業
- ・国交付金事業
社会資本整備総合交付金事業
国道:道路改良(実施中) 3路線 6工区
県道:道路改良(実施中) 2路線 2工区
 - ・国交付金事業
個別補助事業
県道:道路改良(実施中) 1路線
 - ・市単独事業
中規模要望ほか
 - ・防衛施設周辺整備事業

補助シート (重点戦略 事業工程表)

(事業名) 03 国県道整備事業

◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)
148	中規模要望事業の実施	中規模要望事業の実施	中規模要望事業の実施	中規模要望事業の実施
150	アクセス道路の整備 ・用地、物件補償 ・道路改良工	アクセス道路の整備 ・用地、物件補償 ・道路改良工	アクセス道路の整備 ・用地、物件補償 ・道路改良工	アクセス道路の整備 ・用地、物件補償 ・道路改良工
151	拠点間の連携に資する 幹線道路の整備 ・用地、物件補償 ・道路改良工	拠点間の連携に資する 幹線道路の整備 ・用地、物件補償 ・道路改良工	拠点間の連携に資する 幹線道路の整備 ・用地、物件補償 ・道路改良工	拠点間の連携に資する 幹線道路の整備 ・用地、物件補償 ・道路改良工

事業シート (事業名) 04 道路整備推進事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

道路整備事業に係る国庫補助事業の運営に必要な経費の管理。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
H22	-	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性									
----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	36,200	7,909	26,270			
	決算	23,219	15,414				
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	23,219	15,414	26,270			
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	7,000	14	14			
人工	正規	1.0	0.0	0.0			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		30,219	15,428	26,284			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 基本政策 政策 予算費目 所属コード 事業 (担当課) (責任者) (基準日)
03 04 02 01 002314000 04 道路企画課 小出 弘章 R3.4.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

道路整備事業に係る国庫補助事業を執行するために必要な経費の適正な予算執行を行う。



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

道路事業の執行に伴い、必要な経費の適正な予算執行を行う事ができた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

道路整備事業に係る国庫補助事業を執行するために必要な経費の適正な予算執行を行う。

事業シート (事業名) 05 スマートインターチェンジ関連整備事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

東名高速道路の三方原パーキングエリア及び館山寺バス停にスマートインターチェンジを設置することにより、新たな広域交通の拠点を形成し、高速道路と一般道路のネットワークを強化することで、利便性の向上、産業・経済の活性化、観光交流を促進する。また、スマートインターチェンジへのアクセス道路等の整備を行う。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
H25	R4	一般会計	自治事務(法令義務)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	<input type="radio"/>	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	<input type="radio"/>	(施策)	III-1(1)ア						
重点戦略	<input type="radio"/>	(戦略項目)	150						

(4) 関連するSDGsのゴール

									⑨イノベーション
事業とゴールの 関連性	スマートIC及びアクセス道路の整備により、東名高速道路とのアクセスが向上し、 ・物流網の強化による企業誘致の促進・雇用拡大等の地域産業の活性化 ・観光振興による地域活性化 ・災害時の救援・復旧活動の迅速化 などの多面的な効果が期待される。								

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	1,085,600	617,030	215,000			
	決算	882,382	827,847				
	国・県支出	294,647	302,907	99,000			
	市債	443,500	271,800	72,900			
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	144,235	253,140	43,100			
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		7,700	6,153	5,859			
人工	正規	1.1	0.9	0.8			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		890,082	834,000	220,859			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
事業費ベースによる進捗率(%)			目標	90	93	96	100	100	100
			実績	79	91				
市街地と高速道路を結ぶ道路ネットワーク機能の充実 対象路線整備率(%)		150	目標	55	55	56	75	93	100
			実績	55	56				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 03 基本政策 04 政策 02 予算費目 01 所属コード 002314000 事業 05 (担当課) 道路企画課 (責任者) 小出 弘章 (基準日) R3.4.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

【R1-R4重点戦略項目No.150】

三方原及び館山寺スマートICのアクセス道路となる有玉南初生線外4線の道路拡幅整備等を行った。

[決算827,847千円(うち前年度繰越458,440千円)]



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

概ね計画通りに事業用地が確保できており、三方原スマートICのアクセス道路となる(都)有玉南初生線(供用目標:令和4年度)の整備を推進した。

館山寺スマートICの周辺工事は進捗に一部遅れが生じ、繰越となった。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

・コロナ禍に伴い、工事箇所の隣接地権者との調整、現地立合い等に時間を要した。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・引き続きアクセス道路となる(都)有玉南初生線(供用目標:令和4年度)の整備を推進する。
- ・館山寺スマートICの周辺工事の工程を整理し、早期完了に向けて整備を推進する。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・三方原スマートICの利用促進のため、アクセス道路となる(都)有玉南初生線の整備を推進する。
- ・館山寺スマートICの繰越工事の整備を推進し、早期完了を目指す。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

【R1-R4重点戦略項目No.150】

三方原スマートインターチェンジのアクセス道路となる有玉南初生線の道路拡幅整備及び館山寺スマートインターチェンジ周辺の道路整備等を推進する。

事業シート (事業名) 06 三遠南信自動車道関連整備事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

三遠南信地域への高速サービスの提供、災害に強い道路網の構築により、地域医療サービスの向上等、安全で快適な生活環境を確保するとともに、三遠南信地域間の交流促進や連携強化による地域の活性化を目指す。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
H27	H34	一般会計	自治事務(法令義務)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	<input type="radio"/>	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	<input type="radio"/>	(施策)	III-1(1)ア						
重点戦略	<input type="radio"/>	(戦略項目)	147						

(4) 関連するSDGsのゴール

①都市									
事業とゴールの 関連性	三遠南信自動車道の整備により、都市と集落地域の連携強化が図られるとともに、災害に強い道路の整備により、安心・安全な生活を確保することができる。								

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	1,179,100	1,035,600	1,589,000			
	決算	935,625	790,631				
	国・県支出	411,422	365,981	778,250			
	市債	302,100	276,000	682,500			
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	222,103	148,650	128,250			
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		11,760	6,538	7,525			
人工	正規	1.6	0.9	1.1			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.2					
年間経費(予算又は決算+A+B)		947,385	797,169	1,596,525			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
現道改良区間整備率(%)		147	目標	18	25	35	50	60	70
			実績	14	14				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 03 基本政策 04 政策 02 予算費目 01 所属コード 002314000 事業 06 (担当課) 道路企画課 (責任者) 小出 弘章 (基準日) R3.4.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

【R1-R4重点戦略項目No.147】

・平成26年3月に現道改良区間と位置付けられた国道152号(水窪北IC～水窪IC)の整備を進め、青崩峠道路等の高規格幹線道路を繋ぐ区間として直轄事業と同調した供用を目指し、用地・補償及び橋梁工事、道路改良工事を推進した。

[決算790,631千円(うち前年度繰越545,586千円)]



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

・国道152号現道改良区間において、用地補償及び橋梁工事、道路改良工事を推進したが、保安林の解除や河川占用等の関係機関との調整に申請に難航し、事業の進捗に遅れが生じた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

国直轄事業の青崩峠道路の進捗に合わせ、事業を推進させる。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

保安林の解除や河川占用等の関係機関協議に時間を有することから、協議の取り掛かりを早める等、計画的に申請業務を遂行する。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・保安林解除や河川占用等の申請の際には、本庁職員も同行し、県庁職員との対応を円滑に進むように配慮する。
・橋梁工事、道路工事は発注ロットを調整し、計画的な事業進捗を図る。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

【R1-R4重点戦略項目No.147】

・国道152号現道改良区間において、青崩峠道路等の高規格幹線道路を繋ぐ区間として直轄事業と同調した供用を目指し、用地・補償及び橋梁工事、道路改良工事を推進する。

事業シート (事業名) 07 国直轄道路事業(負担金)

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

国土交通省直轄事業として行う国道整備事業への負担金

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
H19	-	一般会計	自治事務(法令義務)	道路法第50条、交通安全施設等整備事業の推進に係る法律第6条

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

①都市									
事業とゴールの関連性	三遠南信地域全体の持つポテンシャルを最大限に高めるとともに、広域連携、地方創生の強力な推進に必要不可欠なものである。								

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	1,062,000	1,505,195	1,446,000			
	決算	1,035,333	1,505,194				
	国・県支出						
	市債	953,900	454,800	1,301,400			
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	81,433	1,050,394	144,600			
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		8,400	3,283	3,311			
人工	正規	1.2	0.5	0.5			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		1,043,733	1,508,477	1,449,311			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

道路法第50条及び交通安全施設等整備事業の推進に係る法律第6条の規定により、政令都市移行に伴い、国直轄事業の事業費負担割合に応じた事業費を市が負担する。

- ①国道474号
 - 青崩峠道路地域連携推進事業
 - 水窪佐久間道路地域連携推進事業
- ②国道1号
 - 維持管理(防護柵・道路標識・区画線・情報提供機器)
 - 電線共同溝事業



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

国直轄事業の執行に伴い、必要な負担金の適正な予算執行を行う事ができた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

国交省の道路整備の進捗に合わせ、実施している。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

国交省の道路整備の進捗に合わせ、実施している。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

道路法第50条及び交通安全施設等整備事業の推進に係る法律第6条の規定により、政令都市移行に伴い、国直轄事業の事業費負担割合に応じた事業費を市が負担する。

- ①国道474号
 - 青崩峠道路地域連携推進事業
 - 水窪佐久間道路地域連携推進事業
- ②国道1号
 - 維持管理(防護柵・道路標識・区画線・情報提供機器)
 - 電線共同溝事業

事業シート (事業名) 08 道路企画運営経費(一般諸経費のみ)

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

--

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	86,336	98,733	67,887			
	決算	77,857	92,272				
	国・県支出						
	市債						
	その他	39	36	42			
	一般財源 一般会計繰入金	77,818	92,236	67,845			
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		15,400	9,331	9,296			
人工	正規	1.8	1.0	1.0			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	1.0	0.8	0.8			
年間経費(予算又は決算+A+B)		93,257	101,603	77,183			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 基本政策 政策 予算費目 所属コード 事業 (担当課) (責任者) (基準日)
03 04 02 01 002314000 08 道路企画課 小出 弘章 R3.4.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

政策シート 政策名 02 快適な道路・川づくり

予算費目名 02 街路事業費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 03 安全・安心・快適

理想の姿 (30年後) ◆どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

政策の柱 (10年後) ◆災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
◆居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

基本政策 04 安全な生活基盤づくり

(2) 政策の概要(当年度(令和3年度)実施内容)

・都市計画道路の整備を進めることにより、市街地における道路ネットワークを構築し、市民が安全で利便性が高く快適に暮らしやすいまちづくりを実現する。

(3) 関連するSDGsのゴール

①都市									
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	1,296,244	881,395	415,940			
決算	1,319,816	951,450				
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	17,080	16,520	16,520			
年間経費(予算又は決算+A+B)	1,336,896	967,970	432,460			

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
都市計画道路の整備率	%	目標	67.7	67.8	68	68	68.2	68.3
		実績	67.7	67.8				
天竜川駅周辺整備事業 事業費ペースの進捗率	%	目標	81	81	98	98	100	100
		実績	79	81				
		目標						
		実績						

4 前年度(令和2年度)政策評価

(1) 前年度(令和2年度)実施内容

・都市計画道路の整備を進めることにより、市街地における道路ネットワークを構築し、市民が安全で利便性が高く快適に暮らしやすいまちづくりを実現する。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗> 計画通り
都市計画道路の整備により、市街地における道路ネットワークの構築を図ることができた。これにより、周辺道路の混雑緩和や歩行者の安全等を確保することができた。

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	都市計画道路整備事業	○	○	○		418,300	408,500	1.4				
2	街路整備推進事業	—	—	—		4,170	4,170					
3	天竜川駅周辺整備事業	○	—	○		3,500		0.5				
4	街路事業運営経費（一般諸経費のみ）	—	—	—		6,490	3,270	0.3			0.4	
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						432,460	415,940	2.2			0.4	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 都市計画道路整備事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

都市圏主要幹線道路としての都市計画道路の整備を進め、都市内交通を効率的に処理し、都市部と周辺地域の道路ネットワークとしての連続性を確保することにより、市民生活の快適性を向上させる。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
H19	-	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	<input type="radio"/>	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	<input type="radio"/>	(施策)	III-4(1)イ						
重点戦略	<input type="radio"/>	(戦略項目)	150						

(4) 関連するSDGsのゴール

①都市									
事業とゴールの 関連性	コンパクトシティの形成に向け浜松市が掲げる拠点ネットワーク型の都市づくりが実現する。また、新たな道路ネットワークの構築により、周辺道路等において渋滞の緩和が図られる。								

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	1,102,356	811,046	408,500			
	決算	1,008,667	818,126				
	国・県支出	414,514	349,905	167,375			
	市債	365,600	151,900	130,700			
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	228,553	316,321	110,425			
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		7,000	9,800	9,800			
人工	正規	1.0	1.4	1.4			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		1,015,667	827,926	418,300			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
整備率(%)			目標	67.7	67.8	68	68	68.2	68.3
			実績	67.7	67.8				
市街地における交通の円滑化(平均旅行速度の向上)(km/h)			目標	30	30	30	30	30	30
			実績	27	27				
市街地と高速道路を結ぶ道路ネットワーク機能の充実 対象路線整備率(%)		150	目標	55	55	56	75	93	100
			実績	55	56				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 03 基本政策 04 政策 02 予算費目 02 所属コード 002314000 事業 01 (担当課) 道路企画課 (責任者) 小出 弘章 (基準日) R3.4.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

【R1-R4重点戦略項目No.150】

【国交付金事業】 [決算821,566千円(うち前年度繰越265,252千円)]

・国土交通省所管事業の所管の社会資本整備総合交付金及び防災・安全交付金を活用し、事業のスケジュールを明確にした上で、街路事業の推進を図ります。
・(都)植松伊左地線外4路線8工区において、選択と集中を図った上で、用地買収・物件補償及び工事を実施し、事業の進捗を図ります。

【市単独事業】 [決算187,101千円(うち前年度繰越47,582千円)]

・補助金(交付金)事業を補完するため、関連した路線(箇所)の整備を行います。

5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

概ね、予定通りに進捗した。地権者交渉に難航し、事業用地確保が出来ず、進捗に遅れが生じた路線があった。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

・コロナ禍に伴い、地権者との調整、現地立合い等に時間を要した。

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・地元調整及び地権者説明を徹底し、計画的な事業用地の確保に努める。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・計画的な事業用地確保に努め、引き続き、都市計画道路の整備を推進する。

7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

【R1-R4重点戦略項目No.150】

【国交付金事業】

・国土交通省所管事業の社会資本整備総合交付金及び防災・安全交付金を活用し、事業のスケジュールを明確にした上で、街路事業の推進を図ります。
・(都)植松伊左地線外4路線8工区において、選択と集中を図った上で、用地買収・物件補償及び工事を実施し、事業の進捗を図ります。

【市単独事業】

・補助金(交付金)事業を補完するため、関連した路線(箇所)の整備を行います。

事業シート (事業名) 02 街路整備推進事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

街路整備事業に必要な登記事務等を実施し円滑な事業進捗を図る。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
H22	-	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性									
----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	16,010	7,760	4,170			
	決算	7,206	3,706				
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	7,206	3,706	4,170			
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	3,500					
人工	正規	0.5					
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		10,706	3,706	4,170			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 基本政策 政策 予算費目 所属コード 事業 (担当課) (責任者) (基準日)
03 04 02 02 002314000 02 道路企画課 小出 弘章 R3.4.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

街路事業に係る国庫補助事業を執行するために必要な経費の適正な予算執行を行う。

消耗品 : 収入印紙代

手数料 : 不動産鑑定手数料

登記事務 : 所有権移転・土地分筆登記



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

街路事業の執行に伴い、必要な経費の適正な予算執行を行う事ができた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

当初の計画通り、必要な経費の適正な予算執行を図り成果が発揮された。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後も継続して事業に取り組んで行く。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

街路事業に係る国庫補助事業を執行するために必要な経費の適正な予算執行を行う。

消耗品 : 収入印紙代

手数料 : 不動産鑑定手数料

登記事務 : 所有権移転・土地分筆登記

事業シート (事業名) 03 天竜川駅周辺整備事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

JR東海道本線天竜川駅に自由通路をはじめとする駅周辺整備やアクセス道路を整備し、公共交通利用の交通結節点機能の向上を図ると共に、周辺地域の利便性を高め、駅を中心とした南北交流の架け橋となるよう、暮らしやすい地区環境を図る。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
H19	R6	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	<input type="radio"/>	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	<input type="radio"/>	(施策)	III-4(1)イ						
重点戦略	—	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

①都市									
事業とゴールの 関連性	コンパクトシティの形成に向け浜松市が掲げる拠点ネットワーク型の都市づくりが実現する。 また、公共交通の利便性向上に伴い、車からのモーダルシフトが図られる。								

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	172,606	59,319				
	決算	299,257	127,809				
	国・県支出	116,495	38,570				
	市債	87,600	68,700				
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	95,162	20,539				
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		3,500	3,500	3,500			
人工	正規	0.5	0.5	0.5			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		302,757	131,309	3,500			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
事業費ベースによる進捗率(%)			目標	81	81	98	98	100	100
			実績	79	81				
主要な駅、バス停の利用者(千人)	III-4(1)イ		目標	約27,200	約27,200	約27,200	約27,200	約27,200	約27,200
			実績	27,680	R4.4頃確定予定				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)									
令和3年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	03	04	02	02	002314000	03	道路企画課	小出 弘章	R3.4.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

JR東海道本線天竜川駅の駅前広場施設の整備を実施。
 北口駅前広場(R2.10供用)
 天竜川駅周辺地区において、駅へのアクセス道路等の整備を実施。
 (市)和田58号線 道路改良工、天竜川南口アクセス道路 道路詳細設計、物件調査

【国交付金事業】 [決算214,100千円(うち前年度繰越194,300千円)]

【市単独事業】 [決算85,157千円(うち前年度繰越17,972千円)]



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

周辺地域の利便性向上のため、JR東海道本線天竜川駅の北口駅前広場の供用を開始した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

天竜川駅南口アクセス道路の整備については、天竜川駅南口まちづくりを考える会及び民間事業の進捗状況を確認しながら、予算措置や用地買収、道路工事等を段階的に実施する必要がある。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

概ね計画通り、事業の進捗を図り成果が発揮された。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

天竜川駅南口アクセス道路の整備については、民間事業の進捗状況を確認しながら、予算措置や用地買収、道路工事等を段階的に実施する。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

天竜川駅南口アクセス道路の整備については、民間事業の進捗状況を確認しながら、予算措置や用地買収、道路工事等を段階的に実施するため、民間事業の進捗状況を確認し、令和4年度に必要な予算要求を行う。

事業シート (事業名) 04 街路事業運営経費(一般諸経費のみ)

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

--

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	5,272	3,270	3,270			
	決算	4,686	1,809				
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	4,686	1,809	3,270			
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		3,080	3,220	3,220			
人工	正規	0.4	0.3	0.3			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.1	0.4	0.4			
年間経費(予算又は決算+A+B)		7,766	5,029	6,490			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 03 基本政策 04 政策 02 予算費目 02 所属コード 002314000 事業 04 (担当課) 道路企画課 (責任者) 小出 弘章 (基準日) R3.4.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

街路事業の執行に伴う適正な予算執行を行う事ができた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

当初の計画通り、適正な予算執行を図り成果が発揮された。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後も継続して事業に取り組んで行く。

7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)



政策シート 政策名 02 快適な道路・川づくり

予算費目名 03 河川費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 03 安全・安心・快適

理想の姿 (30年後)	◆どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。
政策の柱 (10年後)	◆災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。 ◆居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

基本政策 04 安全な生活基盤づくり

(2) 政策の概要(当年度(令和3年度)実施内容)

・水災害を防止・軽減する対策や施設改修などにより、リスク低減を図る。
(河川改良、浸水対策支援)

(3) 関連するSDGsのゴール

①都市	⑬気候変動								
-----	-------	--	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	1,044,025	1,393,954	884,932			
決算	864,054	1,139,899				
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	33,600	33,880	38,080			
年間経費(予算又は決算+A+B)	897,654	1,173,779	923,012			

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
中規模要望(高判定)の残件数(件) (土木部全体)	件	目標	355	212	92	46		
		実績	328	200				
高塚川流域浸水対策アクションプランに基づく床上 浸水戸数の解消割合(%)	%	目標		50	50	50	50	50
		実績		62.5				
《河川法》河川の整備済み延長 (km)	km	目標	86.5	86.6	86.7	86.8	87	87
		実績	86.5	86.7				

4 前年度(令和2年度)政策評価

(1) 前年度(令和2年度)実施内容

・市民生活の安全・安心のために、水災害を防止・軽減する対策の検討や施設改修などにより、リスク低減を図る。
(河川改良、浸水対策支援)

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗>	計画通り
・中規模要望を***件実施した。 ・高塚川流域浸水対策アクションプランに基づき、進捗状況を確認し中間年次おける目標(床上半減)を達成した。	

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	河川改良事業	○	○	○		897,929	873,429	3.5				
2	浸水対策支援事業	○	—	○		6,400	5,000	0.2				
3	河川運営経費（一般諸経費のみ）	—	—	—		18,683	6,503	1.5			0.6	
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						923,012	884,932	5.2			0.6	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 河川改良事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

・豪雨による浸水被害を防止・軽減するため、調査・検討を行い、計画的に河川・排水路の改修を実施する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
		一般会計	自治事務	河川法

(3) 事業の位置付け

主要事業	<input type="radio"/>	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	<input type="radio"/>	(施策)	III-1(1)ア						
重点戦略	<input type="radio"/>	(戦略項目)	148	163					

(4) 関連するSDGsのゴール

⑪都市		⑬気候変動							
事業とゴールの 関連性	・気候変動に伴い頻発する大型台風や豪雨による浸水等の被害を防止、または軽減する。								

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	1,023,140	1,376,937	873,429			
	決算	844,338	1,125,551				
	国・県支出	35,466	151,533	45,333			
	市債	131,300	129,200	361,300			
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	677,572	844,818	466,796			
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		21,000	21,000	24,500			
人工	正規	3.0	3.0	3.5			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		865,338	1,146,551	897,929			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
中規模要望(高判定)の残件数 (件)※平成30年度末時点における 累積未実施分(土木部全体)		148	目標	335	212	92	46		
			実績	328	200				
高塚川流域浸水対策アクションプランに 基づく床上浸水戸数の解消割合 (%)		163	目標		50	50	50	50	50
			実績		62.5				
≪河川法≫河川の整備済み延長 (km)			目標	86.5	86.6	86.7	86.8	87	87
			実績	86.5	86.7				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 03 基本政策 04 政策 02 予算費目 03 所属コード 002331000 事業 01 (担当課) 河川課 (責任者) 永井聖孝 (基準日) R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

◆国交付金事業

- ・(二)九領川 改修

◆単独事業

- ・浸水被害の調査、対策検討、治水計画策定
- ・市管理河川(二級河川・準用河川・普通河川等)改修



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

- ・中規模要望を***件実施した。
- ・高塚川流域浸水対策アクションプランに基づき、進捗状況を確認し中間年次おける目標(床上半減)を達成した。
- ・九領川については、赤松橋の右岸上流部において、河川用地を取得した。
- ・東芳川については、護岸工事等を実施した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

浜松市総合雨水計画の行動計画を作成する。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

高塚川流域浸水対策アクションプランを含む浜松市総合雨水計画を推進し、浸水を軽減する。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

【R1-R4重点戦略項目No.148、163】

◆国交付金事業

- ・(二)九領川 改修

◆単独事業

- ・浸水被害の調査、対策検討、治水計画策定
- ・市管理河川(二級河川・準用河川・普通河川等)改修

事業シート

(事業名) 02 浸水対策支援事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

・行政による浸水対策を補完するため、市民の自助・共助による対策を支援する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等

(3) 事業の位置付け

主要事業	<input type="radio"/>	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	<input type="radio"/>	(施策)	III-1(1)ア						
重点戦略	—	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

		⑬気候変動							
事業とゴールの 関連性		・気候変動に伴い頻発する豪雨による浸水被害を軽減する。							

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	13,355	10,000	5,000			
	決算	13,355	9,999				
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	13,355	9,999	5,000			
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		700	700	1,400			
人工	正規	0.1	0.1	0.2			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		14,055	10,699	6,400			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
浸水対策助成制度(土のうステーション)			目標	運用	2基追加、運用	運用	運用	運用	運用
			実績	1基追加、運用	2基追加、運用				
自分の生命と財産は自分で守らなくてはならないと思う人の割合(%)	III-1(1)ア		目標	80	80	80.5	81	81.5	82
			実績	78.3	75				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 03 基本政策 04 政策 02 予算費目 03 所属コード 002331000 事業 02 (担当課) 河川課 (責任者) 永井聖孝 (基準日) R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

・土のうステーションを区役所等に設置して、広域的に運用する。



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

・令和2年度の浸水対策として、土のうを運用し、5,367袋の土のうが活用された。
・土のうステーションを2基(南区役所)に追加した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・台風等の豪雨時における土のうの供給方法を検討する。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・市民の自助・共助に資するため、土のうステーションを適切に運用する。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

・土のうステーションの適切な運用を図る。

事業シート (事業名) 03 河川運営経費(一般諸経費のみ)

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

--

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性									

2 事業コストの状況(千円)

事業費(千円)		R1	R2	R3	R4	R5	R6
		(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
事業費(千円)	予算	7,530	7,017	6,503			
	決算	6,361	4,349				
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	6,361	4,349	6,503			
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	11,900	12,180	12,180			
人工		1.5	1.5	1.5			
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.5	0.6	0.6			
年間経費(予算又は決算+A+B)		18,261	16,529	18,683			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 基本政策 政策 予算費目 所属コード 事業 (担当課) (責任者) (基準日)
03 04 02 03 002331000 03 河川課 永井聖孝 R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

政策シート

政策名 02 快適な道路・川づくり
 予算費目名 04 港湾費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 03 安全・安心・快適

理想の姿 (30年後)	◆どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。
政策の柱 (10年後)	◆災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。 ◆居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

基本政策 04 安全な生活基盤づくり

(2) 政策の概要(当年度(令和3年度)実施内容)

・水災害を防止・軽減する対策や施設改修などにより、リスク低減を図る。
 (港湾整備)

(3) 関連するSDGsのゴール

①都市	⑬気候変動								
-----	-------	--	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	18,000	32,500	51,200			
決算	17,750	20,000				
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	1,400	700	700			
年間経費(予算又は決算+A+B)	19,150	20,700	51,900			

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
港湾施設(導流堤)の改良率	%	目標	48	66	83	100	100	100
		実績	42	42				
		目標						
		実績						

4 前年度(令和2年度)政策評価

(1) 前年度(令和2年度)実施内容

・市民生活の安全・安心のために、水災害を防止・軽減する対策の検討や施設改修などにより、リスク低減を図る。
 (港湾整備)

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗>	計画通り
県浜名港港湾施設整備事業を行った。 (内容 ブロック制作工)	

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	港湾整備事業	—	—	○		51,900	51,200	0.1				
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						51,900	51,200	0.1				

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 港湾整備事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

浜名湖(二級河川 都田川)内にある県管理浜名港の整備・維持管理事業への負担により、船舶の安全航行と災害防止をに寄与する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
			自治事務	港湾法

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

⑪都市	⑬気候変動								
事業とゴールの 関連性	・気候変動に伴い頻発する大型台風や豪雨による浸水等の被害を防止、または軽減する。								

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	18,000	32,500	51,200			
	決算	17,750	20,000				
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	17,750	20,000	51,200			
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	1,400	700	700			
人工	正規	0.2	0.1	0.1			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		19,150	20,700	51,900			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
港湾施設(導流堤)の改良率(%)			目標	48	66	83	100	100	100
			実績	42	42				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 03 基本政策 04 政策 02 予算費目 04 所属コード 002331000 事業 01 (担当課) 河川課 (責任者) 永井聖孝 (基準日) R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

◆県営事業(負担金)

・県の浜名港港湾施設整備事業に対する負担金。



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

県浜名港港湾施設整備事業を行った。

(内容 今切口東導流堤老朽化対策 全体延長L=212mの内、L=88m完成。改良率42%)

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・県事業費に対する所定の割合の負担金を拠出し、事業を推進する。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・県事業費に対する所定の割合の負担金を拠出する。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

◆県営事業(負担金)

・県の浜名港港湾施設整備事業に対する負担金。

政策シート

政策名 02 快適な道路・川づくり

予算費目名 05 都市下水路事業費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 03 安全・安心・快適

理想の姿 (30年後) ◆どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

政策の柱 (10年後) ◆災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
◆居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

基本政策 04 安全な生活基盤づくり

(2) 政策の概要(当年度(令和3年度)実施内容)

・水災害を防止・軽減する対策の検討や施設改修などにより、リスク低減を図る。
(都市下水路整備)

(3) 関連するSDGsのゴール

①都市	⑬気候変動								
-----	-------	--	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	4,812	35,049	65,000			
決算	4,771	34,998				
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	1,400	1,400	2,100			
年間経費(予算又は決算+A+B)	6,171	36,398	67,100			

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
都市下水路管理延長に対する点検巡視の実施延長割合	%	目標	1.1	6.1	22.1	38.2	54.2	70.3
		実績	1.1	9.4				
		目標						
		実績						

4 前年度(令和2年度)政策評価

(1) 前年度(令和2年度)実施内容

・市民生活の安全・安心のために、水災害を防止・軽減する対策の検討や施設改修などにより、リスク低減を図る。
(都市下水路整備)

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗> 計画通り
・都市下水路点検業務を7.2km(9.4%)実施した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	都市下水路整備事業	○	—	○		67,100	65,000	0.3				
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						67,100	65,000	0.3				

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 都市下水路整備事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

・豪雨による市街地の浸水被害を防止・軽減するため、都市下水路の改修・維持管理を実施する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
S38		一般会計	自治事務	下水道法

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	○	(施策)	III-1(1)ア						
重点戦略	—	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

①都市	⑬気候変動								
事業とゴールの 関連性	・気候変動に伴い頻発する大型台風や豪雨による浸水等の被害を防止、または軽減する。								

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	4,812	35,049	65,000			
	決算	4,771	34,998				
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	4,771	34,998	65,000			
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		1,400	1,400	2,100			
人工	正規	0.2	0.2	0.3			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		6,171	36,398	67,100			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
都市下水路管理延長に対する点検 巡視の実施延長割合(%)			目標	1.1	6.1	22.1	38.2	54.2	70.3
			実績	1.1	9.4				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 03 基本政策 04 政策 02 予算費目 05 所属コード 002331000 事業 01 (担当課) 河川課 (責任者) 永井聖孝 (基準日) R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

- ◆単独事業
- ・都市下水路点検業務



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・都市下水路点検業務を7.2km(9.4%)実施した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・R1都市下水路の点検業務をモデルにして、維持管理方針を策定する。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・都市下水路の維持管理方針に基づき、適正な管理に努める。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

- ◆単独事業
- ・都市下水路の改修・維持管理

